

議 事 録

作成：事務局

教育長	部 長	課 長	課長補佐	主 幹	担 当	班 員	歴史資料館長
文書分類番号				保 存			
(大) 12	(中) 6	(小) 0	(細) 5	11・10・5・ 3 ・1			
会議名	令和 6 年度 第 3 回文化財保護委員会議						
日 時	令和 7 年 3 月 26 日（水）14：00～15：30						
場 所	合志市総合センター「ヴィーブル」2 階 研修室						
司 会	事務局						
出席者	【文化財保護委員】 (委員長) 稲岡 ミドリ (副委員長) 緒方 明 (委員) 濱田 祐幸・三島 多恵子・ 松尾 すみ子・星子 芳寛・岐部 則夫 【生涯学習課】 (課長) 牧野 淳一 (課長補佐) 合志 新一 (主幹) 米村 大 (主事) 前田 純子 (歴史資料館長) 隅倉 雄一						
欠席者	(委員) 齋藤 良子						
会 議 内 容							

1.開会 2.挨拶 3.議題	委員長挨拶・課長挨拶 (1) 令和 6 年度事業実績報告 ① 指定文化財保存・管理事業（資料 P1～2）…事務局より説明 (ア) 清掃管理委託 ・豊岡宮本横穴群の保存処理を応急的に行った。 (イ) 文化財説明看板設置業務 ・二子山石器製作遺跡の看板の面板張替え 2 台と新規で縦置き看板 1 台を設置した。国指定史跡であるため、対象地内で開発行為を行う場合は手続きが必要のため、石切場の付近には掘削せずに縦置き看板を設置した。 (ウ) 埋蔵文化財発掘調査 ・今年度は年間を通して、20 件の試掘・確認調査を行った。 (エ) 社寺調査 委 員）3 月 30 日に調査を行うということであるが、具体的にどこを回るなどの計画はあるのか。 事務局）竹迫五山の金福寺、合志三十三観音の江良観音堂、外園薬師堂等の仏像調査を行う予定である。
----------------------	---

=====

(オ) 須屋校発祥の地碑移設について

- ・かつて、的場のバス停付近に西合志南小学校の前進とされる須屋校が所在していた。この土地は現在、私有地になっており、記念碑が建立されている。今回、地権者の交代により、移設を余儀なくされた。

- ・西合志南小学校の正門付近に移設され、費用は学校が負担することになった。

委員) 統廃合等、学校の変遷を整理して資料に起こして欲しい。

記録を残した方が良いと感じる。その点、ご検討いただきたい。

=====

(カ) 竹迫観音祭の助成金について

- ・祭で使用する太鼓の新調にあたって、「公益信託熊日文化スポーツ基金熊日市民活動助成金」・「熊本銀行ふるさと振興基金助成金」を申請し、合計 55 万円の採択をいただいた。

委員) 昨年度、地元の上庄で開催している蛸祭の様子を映像化することになり、竹迫観音祭保存会が申請していた「熊本銀行ふるさと振興基金助成金」を上庄区でも申請し、30 万円で採択された。今後のためにも、上庄区の魅力化活動を映像化して子どもたちに見てもらいたいと考え、映像製作を合志市クリエイター塾に依頼し、3 分と 8 分程度の動画 2 本を作製した。市でも活用していただけると幸いである。

事務局) 本市においても、地域学校協働活動を行い、学校と地域の連携を図っているため、その活動の中で上映会を行うということも一つの手である。

こちらとしても積極的に活用させていただきたいと考えているため、ヴィーブルの 1 階にあるモニターで映像を流したいと思う。

また、令和 7 年度第 1 回文化財保護委員会の際にご持参いただき、委員会の中で上映してはいかがか。

委員) 次回の保護委員会の際にお持ちしたい。

=====

② 合志市歴史資料館運営事業 (資料 P2~3) …事務局より説明

(ア) ふるさと探訪まちなみめぐりバス

(イ) 子ども歴史科学体験教室

(ウ) 令和 6 年度「合志歴史資料館学習」及び「出前講座」

(エ) 特別展

- ・来年度の特別展について、原田茂氏のご親戚の方から遺品 (段ボール 18 箱程度、ほとんどが衣類) を寄贈していただいた。委員長をはじめ、たくさんの方にご協力いただき、整理を行った。来年度、「原田茂の残したもの」と題して特別展で公開したい。詳細については、令和

4.閉会	7年度の第1回文化財保護委員会で共有したい。 (オ) 企画展「平和の祈り～戦時中の暮らし～」 (カ) 合志市ふるさとカルタ活用 (キ) 令和6年度熊本県博物館連絡協議会の総会 委員) 子ども歴史科学体験教室など、引き続き、幼少期から歴史に触れられるような取り組みを積極的に続けて欲しいと感じた。 ③ 文化財保護委員会運営事業(資料 P6) …事務局より説明 (ア) 令和6年度文化財保護委員会年間計画 (イ) 文化財情報(標柱・説明看板・場所案内板の有無や現況)の調査 ④ 伝統郷土芸能等支援事業(資料 P6) …事務局より説明 (2) その他 ●熊本県祭り・行事調査実施に係る調査について…委員より報告 ・熊本県から生涯学習課を通じての調査依頼があり、令和6年11月～令和7年2月にかけて調査を行った。団体の代表者に話を聞く、文献を調べるなどしてデータをまとめ、県に報告した。 ●上生菅原神社の太鼓について 委員) 上生菅原神社の拝殿の右外壁に大太鼓の胴部が野ざらしの状態ですてかけてある。雨乞いに使われていたと考えられる。 委員) 平島の大太鼓が復活したように、調べて価値付けをする必要がある。 事務局) 太鼓はかなり傷んでいるのか。 委員) かなり傷んでいて、状態は良くない。 事務局) 計測、写真を撮影する等して記録に残しておきたい。 ●竹迫初市の開催について…事務局より説明 ・令和7年4月19日(土)～20日(日)の2日間で竹迫初市を開催する。資料館でも展示ギャラリーを使って資料の展示を行う。 ●清寿院観音堂について 委員) 竹迫五山の一つである清寿院観音堂の参道付近が荒れており不便なため、区で修復をしようという話が持ち上がっている。修復にあたり、助成金または補助金はでないのか。 事務局) 来年度、清寿院の看板を設置する予定であるため、その分については予算計上している。
------	---

	また、合併前に設置された石柱の基礎部分の土が流され、倒れそうになっており、危険な状態であるため、看板設置の際にコンクリートで固めることも検討している。 事務局）とにかく、まずは現地を確認し、どの程度市が協力できるのか等、区と協議した方が良いのではないかな。 委 員）そのようにしていただけると大変ありがたい。
--	---